

中島海岸及び津谷川に関する要望事項の検討WG（第1回）議事概要  
平成26年5月29日（木）

【開催主旨】

- ・ 災害復旧事業に係る要望事項の具体的な検討を行う場として、このワーキンググループの設置、また学識経験者を交えた検討会の設置について、5月13日の準備会及び5月22日の全体会において説明させていただき、了解をいただき、今回の第1回検討ワーキングを開催。
- ・ 今日の内容については、前回の準備会の内容確認と準備会で出た意見を踏まえた対応案を提示し、皆さんからご意見を伺い、できるだけ意見集約させていただきたい。
- ・ 第1回目の検討ワーキングのメンバーにつきましては、津谷地域振興会長、各振興会の副会長、オブザーバーとして、地元市議3名の方に参加いただいている。

【説明資料】

別添資料のとおり

【資料1に対する意見】

1 会の運営について

意見1：検討WG議事録は、情報共有として最大限公開して議論のしやすい体制にしてほしい。ファシリテーターについて、WGのような場では不要であるが、全体説明会のような場では必要と考える。

了解事項：これまでの説明会経緯もあるため、県が引き続き司会進行を行う。

意見2：全体説明会でWGを傍聴できるようにしてほしいという要望があった。

了解事項：非公開との意見が多いため、今後についても非公開とする。

【資料2に対する意見】

1 高水敷整備

意見1：水路で分断されるところは橋で渡れるよう工夫してほしい。

対応：従前の機能は復旧できるよう工夫したい。

意見2：小泉の地区の人にとっては③の高水敷を広くとった方が良い。多く使うのは③、④、⑤の高水敷。

対応：③、④、⑤が利用の候補。具体案を検討し、次回提示したい。

意見3：護岸形式について、かごは錆びるので捨石のみでも良いのでは。

対応：工事用の仮設として施工するため、カゴを基本とさせていただく。

2 河口部の整備

意見1：保安林については松だけでなく広葉樹も植えたらどうか。

対応：前面は、塩に強いクロマツが基本。高木性の広葉樹も混ぜて植える計画もあるが、広葉樹を植える場合は陸側となる。

了解事項：検討については1案（外尾川の既存護岸を残す）を基本とする。

3 海水浴場施設検討

意見：緊急車両が入れる通路を確保した方が良い。

対応：駐車場から海側まで車両が通れるようスロープを設置したい。

#### 4 排水について（樋門配置計画）

意見：樋門形式は土砂堆積が管理上の問題となる。土砂堆積対策を考慮してほしい。

対応：外尾川については管理の容易さを考慮し水門形式を基本としたい。中島海岸については、背後の地盤を嵩上げし、樋管の敷高を高く設定するよう検討する。

#### 5 その他意見

意見1：河口の導流堤は河口閉塞を起こさないよう工夫してほしい。

対応：専門家の意見も聞きながら検討したい。

意見2：三陸道と国道45号の避難階段について

対応：次回で意見集約したい。

意見3：梨ノ木橋はなるべく早く作ってほしい。

対応：橋台は堤防と同時期となるが、橋桁は堤防の後になる。

意見4：今回の津波高をどこかに表示し、防災意識啓発を行うべき。

対応：海水浴場の駐車場に表示することも検討していく。

意見5：十郎衛門堰は復旧するのか。

対応：担当部署に確認したい。

意見6：船揚場の復旧計画について。

対応：関係者に個別説明で対応したい。

意見7：堤防の緑化について（市より提案）

対応（地元意見）：地元で草刈りをするのは困難。耕作者としては、木が生えるとスズメが増えるので嫌われる。

意見8：検討会のメンバーに土木の先生を入れるべきでは。

対応：土木工学の先生が入っており問題ないとする。

意見9：堤防の安全を確認するため、検討会に構造の先生が必要では。

対応：技術基準が確立しており問題ないとする。

意見10：代替案のシミュレーションをかけていただきたい。

決定事項：「全体会で県から代替案の説明があった。4案追加検討して今の案が最適との結果なので、これ以上シミュレーションを行っても時間がかかるだけであり、復旧が進まない。役員の総意としては、死者が出た現場でもあるので早く進めて欲しい。」との提案がWGメンバーからあったことから、参加メンバーの総意として実施しないことを決定。

意見11：工事について、1日も早く着工すること。

対応：5月22日の説明会で提示したスケジュールどおり進められるよう努力する。

以上